

棋道懇談会会報

第138号

4月例会

2010年

く)であることに気づいた。これがヘボ碁の宿命なのだと観念した



現も夢ではないでしょう。(元外務省大使)

「対盤厚礼」碁盤は呼吸をしている

藁科満治

二〇〇八年は、『源氏物語』が紫式部によって産み出されてから、丁度千年の節目に当たる。『源氏』には囲碁の場面がいくつもあり、そこではあくまでも情感豊かに美しく描写され、読む者の心を切なくする。



私は、千年紀にちなんで『囲碁文化の魅力と効用』を同年末に出版した。反響は予想以上に大きく、多くの方々から心のこもった手紙やメールを頂戴し、感激している。西宮の松野さんという方からは「碁盤の脚が一本抜けるようになっていて。その理由と由来を知りたい」という質問を頂戴した。早速、調べてみたが、なかなか答

えが見つからなかった。苦し紛れに碁盤店の平井社長にお尋ねしたところ「碁盤の状態をチェックする際には、脚を抜いてそこから盤の状態を調べている」との回答をいただくことができた。

本年二月、棋聖戦の第三局でビシツという音とともに、碁盤にひびが入るといふハブニングがあった。幸い対局には支障がなかったようだが、私はこの記事を読

いうことを改めて教えられたのであった。

(元参議院議員、元民主党議員会長)

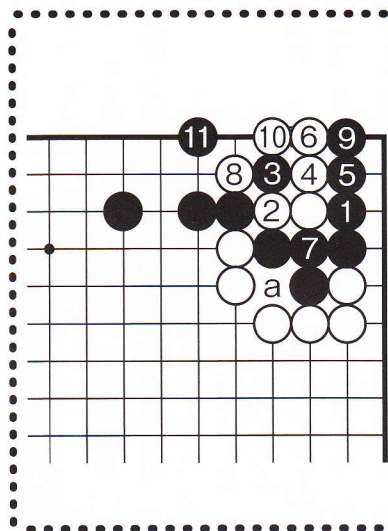
注1 『囲碁文化の魅力と効用』は日本評論社刊。

注2 碁盤のひびがわかった対局は二月三日、大分・別府で打たれた棋聖戦第三局初日。十五日読売新聞朝刊囲碁欄に詳しい。

(事務局)

手筋問答・解答

黒1とハイ、白2の切りに黒3から5が手筋で、以下11で仕留めます。黒1で7のツギは、白2、黒1、白5で事件。白2で7なら黒4、白a、黒2で黒無事。



*** 会 員 消 息 ***

森 一久 (もり かずひさ) 氏

元原子力産業会議副会長。二〇一〇年二月三日、肺炎のため、東京・築地の国立がんセンターで死去されました。八十四歳でした。「思い出を語る会」が三月二五日、日比谷のプレスセンターで行われました。囲碁六段。当会へ熱心に参加、本年一月十五日の例会にも出席されました。米国大統領が中国国家主席に囲碁用品を贈ったとのニュース資料を同月二十六日、事務局あてにお送りくださいましたが、発送直後に悪化したそうです。



長岡 喜法 (ながおか よしのり) 氏

NPO法人地球こどもクラブ会長。日本棋院参与。かねて病氣療養中のところ、二月一七日、死去されました。八十五歳でした。山梨県生まれ、日本勧業銀行、イトヨーカドー専務取締役などを経て、株式会社ロングヒルジャパン会長、財団法人長岡育英会理事長などを務められました。囲碁は三段でした。



棋道懇談会四月例会会報をお届けいたします。

森一久さまの訃報を掲載いたしました。ご生前、当会へご貢献いただいたことに感謝しつつ、改めてご冥福を祈らせていただきます。

二〇一〇年六月

棋道懇談会事務局

TEL 〇三—三二一七—九九八三
メール t-kidoukon@yomiuri.com

森一久様ご遺族様